

賀正 1970年



1970年1月13日
第91号
発行 新潟県巻町役場
電話 代表 23131
編集 商工観光課
印刷所 北洋印刷株式会社

住民基本台帳人口
(昭和44年12月31日現在)
総人口 27,565人
男 13,327人 女 14,238人
世帯数 6,034

**得妻荘前に
バス停が新設**

仁鶴の老人いこいの家「得妻荘」前にバス停留所が、このほど新設され、利用者の交通の便が良くなり、また、得妻荘をせいでいご利用ください。



白鳥の佐瀨から町の観光シンボル角田山の雄姿を望む

新年おめでとうございませう。新年は縣案であったほとんどの事業が解決され、ここに新しい年を迎えることのできましたことは誠に同様にたえせん。

西川の農業用水確保の問題から端を発した、上水道

諸問題と慎重に対処

井 沢 一 二 会議議長



の原水取水事業は、もしもその実施が遅延すれば、年を追う毎に、わたしたちの生命を脅かす重大な問題でありました。それが三か町村の広域の水道拡張計画もあわせ実施でき、このうえもない喜びでありました。

また得妻荘(老人いこいの家)の問題についてもありますが、議員の善意で始まった小さな波紋は、やがて湖水をばいばいに広がり、浄水場を築る仕事を受け持つあまりにも大きく、皆様方の積極的な熱意にはただただ感銘いたしました。

風光明媚な地、仁鶴小丸山に建設された、この家は、全町民の期待のなかに、十ヶ月でたくオープンし、すでに、数千人の方々から利用をいただき好評を博しております。

寄付金の正確な数字は、

新年おめでとうございませう。新年は縣案であったほとんどの事業が解決され、ここに新しい年を迎えることのできましたことは誠に同様にたえせん。

西川の農業用水確保の問題から端を発した、上水道

の原水取水事業は、もしもその実施が遅延すれば、年を追う毎に、わたしたちの生命を脅かす重大な問題でありました。それが三か町村の広域の水道拡張計画もあわせ実施でき、このうえもない喜びでありました。

また得妻荘(老人いこいの家)の問題についてもありますが、議員の善意で始まった小さな波紋は、やがて湖水をばいばいに広がり、浄水場を築る仕事を受け持つあまりにも大きく、皆様方の積極的な熱意にはただただ感銘いたしました。

風光明媚な地、仁鶴小丸山に建設された、この家は、全町民の期待のなかに、十ヶ月でたくオープンし、すでに、数千人の方々から利用をいただき好評を博しております。

寄付金の正確な数字は、

新年おめでとうございませう。新年は縣案であったほとんどの事業が解決され、ここに新しい年を迎えることのできましたことは誠に同様にたえせん。

西川の農業用水確保の問題から端を発した、上水道



の原水取水事業は、もしもその実施が遅延すれば、年を追う毎に、わたしたちの生命を脅かす重大な問題でありました。それが三か町村の広域の水道拡張計画もあわせ実施でき、このうえもない喜びでありました。

また得妻荘(老人いこいの家)の問題についてもありますが、議員の善意で始まった小さな波紋は、やがて湖水をばいばいに広がり、浄水場を築る仕事を受け持つあまりにも大きく、皆様方の積極的な熱意にはただただ感銘いたしました。

風光明媚な地、仁鶴小丸山に建設された、この家は、全町民の期待のなかに、十ヶ月でたくオープンし、すでに、数千人の方々から利用をいただき好評を博しております。

寄付金の正確な数字は、

年頭の決意 町長江端 一郎

の公共施設を有することは地方行政の中心となっており、このことを理解していただきたいと思います。

また、佐渡と結ぶ広域網の中における巻町の果たす役割は実に大きいことが考えられます。いづれにせよこれらのことを前提として、あすの飛躍を期さなければならぬと思っております。道は遠くとも希望は大なるものがございませう。その一歩を著実にして町勢の進展を図りたいと存じます。

なお、広報まきは私と町民を結ぶたいせつなきつなぐものであります。いづれにせよ、この批判をたまわりたいと同時に皆様方の声もよく聞かせたいと思っております。以上を申し上げて、ごあいさついたします。

今年度の町費の目標額は五十四万六千円と決まり、新年早々で大奮闘ですが、各部署長さんにお願いを申し上げます。お願いをいたしましたのでその際は、町民の大きな共感をいただいたこと、事務にこまめにたがき、なによりお金の成り金の協力をお願いをいたします。

コローニーの概要

名称 コローニーにいがた白鳥の里

位置 新潟県三島郡寺泊町

面積 約二千四百七千平方メートル(約七万五千坪)

収容定員 五百人

建設費 約十五億円

建設年度 昭和四十五年年度

竣工年度 昭和四十五年年度

建設費 完成後の年間所要員は約三億円

コローニーは知恵おくれや一部不自由の合併障害の人たちが、よい環境のもとで、安定した日常生活をおくりながら、障害の程度に合った指導や訓練を受け、それぞれの能力を伸ばし、生業を身につけて社会に復帰できるよう、いろいろな機能をもった総合施設です。

約十五億円、完成後の運営費は年間約三億円の巨費を必要とする見込みであります。

コローニー建設費については、全額県費でまかなうことは、運賃費の一部については、入所者に十分な処置がはかられるよう県民全体の力を結集し、五年間で十億円を目標に、協力を願っておりますことになりました。

